



**2021-22 年度地区方針**

**「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～**

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

**本日 第2407回 2021年10月15日(金) No. 2288**

**本日のプログラム Today's Program**

**卓話担当者:米山記念奨学委員会**

**点 鐘 12:30**

**卓 話 者:地区米山記念奨学委員会  
副委員長 神谷 恵理さん**

**唱 和 「ロータリーの目的」**

**演 題: 「米山記念奨学会について」**

**前回 第2406回 2021年10月8日(金) 記 録**

○斉唱:「我等の生業」

○出席者:会員 23 名中 17 名出席 出席率 73.91%

**会長あいさつ 桜井 雅博**



今日は、2021年のノーベル物理学賞を、受賞された真鍋淑郎・米プリンストン大上席研究員のお話です。授賞理由は「地球の気候と地球温暖化の予測に関する物理モデルへの貢献」でした。真鍋氏は米東部ニュージャージー州プリンストンの自宅で記者団に「気候物理学というトピックで受賞した人は過去にいない。非常に光栄に思う」と喜びを語った。真鍋氏は、89年に発表した論文では、このモデルを使い、今後70年間の気候の変化を予測。温室効果ガスの排出量が年間1%ずつ増加した場合、特に北半球の高緯度地域で温暖化が進むと結論付けた。この予測は、後の観測でおおむね

正しいことが裏付けられている。記者から米国籍を取得した理由を問われると、日本では周囲との「同調」が求められるのに対し、米国では周りを気にせずやりたいことができるから、などと回答。そして、こんなコメントも残した。「日本に戻りたくない理由の一つは、周囲に同調して生きる能力がないからです」この発言に、会場では笑いが起こった。好きなときに好きなだけスーパーコンピュータが使用でき、上司からは何も言われなかったそうです。

しかし、我々日本人にとっては、笑えない現実ですね。最近はやりの、忖度の風習だったり、空気の文化だったり・・・今でも尖った発言や行動は、叩かれますね。谷口亜弥さんが始められる発達障害児教室ですが、私の孫も診断されて、療育センターに通いましたが、私には少し元気がよすぎるかなあという感じです。渋沢栄一の評伝を読んでいますと、幼児期の教育環境の重要性を痛感しました。

	10月22日(金)	10月29日(金)	11月5日(金)	11月12日(金)
例 会 予 定	卓話担当者:戦略委員会 卓話者:箕輪 良孝戦略 委員長 演題:「会員増強と今後の 尾張旭 RC の在り 方について」	休会  定款による休会	卓話担当者:ロータリー財団委員会 卓話者:地区資金管理 委員会 副委員長 安田 新平君 演題:「ロータリー財団プログラムに ついて」	卓話担当者:熊澤 功君 卓話者: 〃 演題:「雑話」

また、本日配布した資料では、「松田 学政策研究所」の「みらいのお金と経済国の借金をお金に変える政府暗号通貨 『松田プラン』とは」についてです。何かのご参考になればと思います。「和魂漢才」「和魂洋才」と言われて久しいですが、そろそろ「和魂和才」と言われても良い様に思います。

かつて国の借金は、戦争の徳政令でチャラにしましたが、現代ではそれは出来ません。中国はデジタル人民元を創設して、米国のドル基軸通貨制度を破壊しようとしているそうです。日本もデジタル通貨を発行して、防衛する必要があると言っています。このデジタル通貨のブロックチェーン技術は、ビットコイン、そしてブロックチェーンの生みの親と言われる「サトシ・ナカモト」氏によりもたらされた、既存技術の組み合わせによる技術革新である。といわれています。

## 幹事報告

・10/3(日) 第11期 2760 地区 RLI 会長エレクト  
研修:パート I 於星城大学 名古屋丸の内キャンパス 菊田会長エレクト、森井地区研修実行委員 出席

## ニコボックス

○加藤会員増強委員長の卓話を楽しみにしています。

桜井 雅博君、菊田 利昭君、江尻 豪君  
熊澤 功君、舟橋 龍秀君、森 友子さん  
森 康美君

○結婚記念日を祝っていただき。 仲澤 昌容君

○本日、卓話を担当します。宜しくお願いします。  
加藤 清久君

○ロータリーが順調に開けるようになりました。皆さんよろしくお祈りします。 加藤 清久君

○加藤さん、卓話ご苦労様。会員増強 頑張れ清久。 箕輪 良孝君

○加藤さん、気合いの入った卓話ヨロシクお願いします。 森井 晴生君

○本日の加藤清久委員長の卓話を真剣に拝聴いたします。 山田 直樹君

## 第1回パスト会長会議

日時：2021年10月9日(土) 18:00~

場所：浜木綿 守山大森店

議題：1) 今後のクラブについて

・継続して検討していく事となった。

## 卓話

「会員増強について」  
会員増強委員長

加藤 清久

最近のRIの会員増強は、さまざまな形のクラブをつくり正会員としてカウントしようと



の方針ですが、当面、我がクラブは自分のクラブの増員に力を注ごうと考えています。

会員増強の手段は、増員を図ることは勿論ですが、まず、自クラブメンバー各位が自己研鑽をほかり、ロータリーの目的である「親睦と奉仕」を実践し隙のないクラブをつくることであると考えます。

退会者をだしたり、新会員に失望させるようなことがあってはなりません。

さて、本題の会員増強ですが、我がクラブには会員増強用にOK基金がありますので、これを活用して入会いただくことだと思います。

「ロータリーに入るとどんなメリットがあるの」と聴かれて様々に説明するものの、言葉や文字で表現できないところが多いので、まず、入会いただき肌で触れて成長していただくことと云うことです。したがって、クラブ会員におかれましては、新会員候補を推薦いただき、この方法にて増員を達成させていこうと考えていますので、どうぞ、よろしくお祈り致します。

今年度は2名が増員目標です。

## ガバナー月信10月号

【Governor's Message】ガバナー 杵名 俊裕  
存在感のある、ロータリーへチェンジしよう。

ロータリークラブは1905年シカゴにて発足され、日本初のロータリークラブは1920年東京ロータリークラブです。その成り立ちから親睦・職業奉仕を核にしてのクラブでした。

しかし、時代の変化とともに、ビジョン声明、四つのテストを基としながらも、RIの戦略計画により、中核的価値観、戦略的優先事項を取り入れロータリーも変化をしてきました。親睦・職業奉仕はロータリーの核であります。社会奉仕や公共イメージ向上に力を入れ、広くロータリーの存在感を高める必要が出てきました。

それが会員増強につながり、活力あるクラブになり、益々社会奉仕できる団体として成長できるようになると思います。

今のクラブの方針や風土を大切にしながら、プラスして、もっと成長するクラブにチェンジしてもらいたいと考えます。

## 第9回ワールドフード+ふれ愛フェスタ

日時：2022年4月23日(土)  
～24日(日)

場所：名古屋・栄久屋大通公園  
エンゼル広場、エディオン久屋広場

時間：10:00～17:00

上記日程にて開催決定

